

民主島根

2016年
12.18
第1277号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

TPP、年金、カジノ次々強行… 安倍暴走政治を打倒

松江 大平衆議院議員が街頭で国政報告

日本共産党の大平喜信衆議院議員は国会会期末を控えた11日、小雨の中、松江市の商業施設前で街頭演説し、「TPPや年金カット法案、カジノ法案など、民意無視の強行採決を繰り返す安倍政権に国民の未来を託すわけにはいかない」と述べ、「総選挙で安倍政権を退陣に追い込み、国民の手に政治を取り戻そう」と呼びかけました。(写真) 高校生から「そうだ」



(左から)むこせ、岩田、後藤の各氏

衆院選 野党連合政権の実現を

1区・岩田氏、2区・むこせ氏を擁立

日本共産党島根県委員会では5日、県庁で記者会見し、衆院島根1区に党県常任委員の岩田たけし氏(新)、同2区に党西部地区委員長長のむこせ慎一氏(新)を擁立すると発表しました。

後藤勝彦県委員長は「比例中国ブロックの議席増をめざし、小選挙区でも野党共闘を必ず実現させ自公を少数に追い込む」と述べました。岩田、むこせの両氏は、市民と野党の共闘で、安倍暴走政治ストップに全力を挙げると表明しました。

11月県議会の論戦から

日本共産党の大國陽介県議は11月30日、一般質問に、尾村利成県議は2日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をたどりました。

大國県議の一般質問

介護・保育の処遇改善を

溝口善兵衛知事は、介護職員の処遇・労働環境について「低賃金で希望が見えない、勤務環境が過酷といった厳しい声も



尾村県議の一般質問

学力テストは中止せよ

尾村県議は「全国学力テストの学校別結果公表で、学校を点数競争に追い込み、教育現場と子ども

岩田たけし氏の略歴

1980年松江市生まれ。松江情報ビジネス専門学校卒業。松江民主商工会事務局、日本民主青年同盟島根県副委員長などを歴任。2014年4月から尾村利成県議秘書。現在、党県常任委員。

むこせ慎一氏の略歴

1971年石川県生まれ。山形大学大学院工学研究科修了。日本民主青年同盟島根県委員長、党西部地区副委員長など歴任。国政選挙、県知事選挙に立候補。現在、党西部地区委員長。

現場の声もよく聞きながら、県としてできることを検討していきたい」と表明しました。

大國県議は「人手が足りず、休みも取れない」「これ以上職員が減ると、施設運営も成り立たなくなる。助け合いながら何とかやっている」など介護労働者の悲痛な声にふれ、国へ改善を求めるとともに、県としても実効性ある施策を早急に講じるよう求めました。

また、大國氏は、保育現場においても、職員配置基準と労働環境改善を求め、県としてできることもな対策を示さなければ、保育の担い手は育たなくなると強調。「職員配置基準と処遇改善は急務の課題だ」と迫ったのに対し、溝口知事は「県として先輩保育士が新人保育士をサポートするエルダー制度の普及や、保育士の大きな負担となっている書き物などの事務作業の効率化など、保育所と一緒に取り組むことをすすめていく」と答えました。(2面に続く)

置基準と労働環境改善を

「市教育長が『実は13年度から(過去問を)やっている。今年受ける子どもに去年の問題をやっている。テクニク的なところもある』市長も『場慣れみたいなところもありますから。いきなりやるのは違いが出るかもしれない』と発言した議事録を紹介。

「過去の調査問題を練習させる行き過ぎた取り組みは、調査の趣旨・目的を損なう」とした文部科学省の通知(今年4月)に反すると指摘し、学力テスト対策の実態の精査・改善を迫りました。

鴨木朗教育長は「市教委を通じて実態を確認し、適切に対処する」と約束。

尾村氏は「教育行政の役割は、少人数学級の推進や教員の多忙解消など教育環境を改善することだ」と強調しました。

(2面に続く)

鼓動

年末の風物詩となったベートーヴェンの交響曲第9番合唱付き。私事で恐縮だが、娘も第9演奏会に出るとかで練習に励んでいる。▼

「世の習わしの厳しく分け隔たものを、汝の力はふたたび結び合わせる。その優しき翼を休めるところ、すべての人々は兄弟となる」(シラー「歓喜」)。自由と平等を求めて民衆が立ち上がったフランス革命に強く共感したベートーヴェンは、シラーのこの詩に感動し、第9で高らかに人間の尊厳、連帯をよびかけた▼「自由思想の危険人物」とみなされ秘密警察の監視下にあったベートーヴェン。集会の自由が奪われたなか、1824年の第9初演には大勢のウィーン市民が集まり、拍手が鳴りやまず当局が制止した。彼の葬儀には2万人の市民が集まったが、宮廷からは一人の弔問さえなかった▼「僕の芸術は、貧しい人々の運命を改善するために捧げられねばならない」。弾圧を乗り越え「民衆のため」に音楽を作ったベートーヴェン。彼の死後、ウィーンの民衆は市民革命を起し、検閲の廃止、憲法の制定を国に約束させた。第一次大戦後の日本にあったドイツ人捕虜収容所で、またベルリンの壁崩壊後のドイツで、第9は演奏され、世代を超えて人間の連帯を築いてきた▼ベートーヴェンが第9にこめた人間の尊厳、連帯を求めたたいは、日本共産党の歩みに通じる。日本共産党第27回大会決議案は伏流水のように存在する世界各地の社会変革の動きに注目。世界の進歩的運動の発展を力強くよびかけた。第9から勇気を得て、歴史的な党大会の年へ新しい飛躍を。

(後)

「反戦平和」求め、2つの集会開く

沖縄と連帯する島根の会結成

「沖縄問題は日本の民主主義を守る闘い」―松江市で10日、「沖縄と連帯する島根の会」が設立され、80人を超える参加者の中、小泉親司党基



地対策委員会責任者が記念講演しました。(写真) 小泉氏は「いま、米軍基地を日本に永久に置いていいのかが問われている」と切り出し、沖縄の高江、辺野古で起きている実態を報告しました。その中で、「ノグチゲラの生息する自然豊かな高江村に、すさまじい爆音のオスプレイ基地をつくるというもので、まさに辺野古への基地移転と一体だ」と批判し、「わずか

139人の集落に早朝、500人を超える機動隊

戦争体験を語り継ぐ集い

「戦争体験を語り継ぐ集い」が10日、松江市で開かれ、90人が参加しました。(写真)



同市在住の吉野蕃人(しげと)さん(91)がシベリアでの捕虜生活を語りました。吉野さんは「初年兵の20歳の時、満州で終戦を知り、帰還列車で着いた先が旧ソ連シベリアだった」と話し、「騙されてシベリアに連れ込まれ、飢えと極寒の重労働で多くの命が失われた」と過酷な経験を語りました。

が襲う異常な事態。高江の現状は民主主義そのものが問われている」と述べ、安倍政権を厳しく糾弾しました。

尾村県議の質問(続き)

高い国保料(税)引き下げを

尾村県議は「国保の都道府県化」によって、県が市町村ごとに医療給付費の水準、標準的な収納率、標準保険料率などの指標を提示することで「市町村に対する給付抑制や収納率向上、一般会計繰入解消への圧力となり、住民負担増、徴収強化、給付費削減がさらに進むことになる」と都道府県化の問題点を指摘しました。

尾村氏は、県内では国保加入世帯の1割が保険料(税)を滞納し、500世帯が保険証を取り上げられ、「国民皆保険」の空洞化が進んでいると強調しました。

生活保護行政の改善を

生活保護の申請時だけだ

生活保護の申請時だけだった「資産報告」が厚生労働省の通知(2015年3月)で最低年1回に改悪され、県内では半数を超える自治体で、預金通帳のコピーを提出させるプライバシー侵害事例が生じていることを告発しました。中でも、出雲市は「資産報告」した632世帯から通帳のコピーを提出させる異常事態となつていきます。

大田氏は、生活保護受給者からの「通帳を見せ

衆院議員2年を振り返って(上)

大平よしのぶ議員に聞く

「この臨時国会は、あらゆる面で安倍内閣の暴走がさらに際立った国会だったと思います。一方で、参院選において野党共闘で当選した議員の活躍、さらに議席が増えた日本共産党国会議員団の論戦が光った国会でもあったと思うのですが。」

沖繩から国会に来られた伊波洋一さんをはじめ野党統一の参院議員の方々は論戦だけでなく国会での野党共闘にも大きな役割を果たしています。日本共産党について言えば、参院選で3議席増えて11議席から14議席になりました。そして、参院でも複数委員の常任委員会ができ、引き続き、野党第2党ということでの発言の機会・回数が増えています。

先の予算委員会では、小池晃書記局長が1時間半にわたる質問で、社会保障の問題を取り上げ、大好評・大反響でした。

「共産党が伸びれば政治が変わる」ですよ。さて、大平議員は、この12月で衆院議員に当選して2年になります。一昨

年12月の総選挙で、中国地方で11年ぶりに衆議院の議席を獲得し、日本共産党も8議席から21議席に躍進しました。改めて2年間を振り返っていかがですか。

新人議員で、しかも地方議会の経験もない私にとつては、右も左も分からない中での緊張したスタートでした。8議席の時期とどう変わったのか、以前を知らない私にはわからない

ろにいてくれる」と喜ばれています。

他党からも「共産党は変わったな、若返ったな」と言われています。確かに調べてみると、平均年齢が一番若いのが共産党なんです。色々なところで共産党の躍進が話題になっているんだな、と実感しながらのスタートでした。

―そして、国会初質問が昨年3月5日の予算委員会でした。(写真左)

初質問の緊張感は今でも覚えています。テーマは、選挙中から一貫して訴えてきた「ヒロシマの心を国会へ！」の思いで、①原爆症認定制度の見直し、②黒い雨地域指定の拡大、③核兵器廃絶に向けての3つの柱で菅官房長官や広島選出の岸田外務大臣などに質問しました。

質問が終わって、被爆者の方や「黒い雨」被害者の方から「大平さんを国会に送ってよかった」と感想が寄せられた時は嬉しかったですね。しかし、今臨時国会での核兵器禁止条約への安倍内閣の態度など、被爆国の政府にあるまじき態度を見るにつけ、被爆地出身の国会議員としてさらに頑張らねばと思つていきます。(続く)

また、中国地方から中央の集会やデモに参加する方からは、「中国地方の議員が国会の出迎えのここ



インタビューに答える大平氏

また、中国地方から中央の集会やデモに参加する方からは、「中国地方の議員が国会の出迎えのここ



インタビューに答える大平氏